

## 平成28年度 三河歯科衛生専門学校 自己評価

### 1 (1) 三河歯科衛生専門学校教育理念

「豊かな知性と誠実な心を持ち、社会に貢献できる人材を育成する。」

### (2) 三河歯科衛生専門学校学則

#### 第1章 総則

第3条 本校は、教育基本法（昭和22年法律第25号）の精神に則り、学校教育法（昭和22年法律第26号）及び歯科衛生士法（昭和23年法律第204号）に基づき歯科衛生士に必要な専門教育を施すとともに、社会から喜ばれる知識技能と歓迎される人柄を兼ね備えた人材の育成を目的とする。

### 2

#### (1) 教育理念・目標

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1			
・ 学校の理念・目的・育成人材像は定められているか	④	3	2	1
・ 学校における職業教育の特色は何か	④	3	2	1
・ 社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか	④	3	2	1
・ 学校の理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが学生・保護者等に周知されているか	4	③	2	1
・ 各学科の教育目標、育成人材像は、学科等に対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか	④	3	2	1

#### 【課題・今後の改善方策】

- ・ 超高齢社会のニーズに対応できるように、高齢者施設の実習を充実させる。また、地域の歯科医療において、より高い専門性を発揮し、広く深い知識や技術に裏打ちされた実践能力の基に、他職種と連携をとりながら仕事ができる歯科衛生士の養成に取り組む。

#### (2) 学校運営

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1			
・ 目的等に沿った運営方針が策定されているか	4	③	2	1
・ 運営方針に沿った事業計画が策定されているか	④	3	2	1
・ 運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化されているか、有効に機能しているか	4	③	2	1
・ 人事、給与に関する規程等は整備されているか	4	③	2	1
・ 教務・財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか	④	3	2	1
・ 業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか	4	③	2	1
・ 教育活動等に関する情報公開が適切になされているか	4	③	2	1
・ 情報システム化等による業務の効率化が図られているか	4	③	2	1

【課題・今後の改善方策】

- ・ 中長期計画会議・職員会議・学年会議を定期的で開催し、学校の長期的目標や短期的目標を明確に定め、会議を意思決定機能として有効なものにする。
- ・ 学校評価などの基本情報に関し、公開すべき内容・方法について、審議・検討し、HPなどで対応する。

(3) 教育活動

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、やや不適切…2、不適切…1			
・ 教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか	④	3	2	1
・ 教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた学科の修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	④	3	2	1
・ 学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	④	3	2	1
・ キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか	④	3	2	1
・ 関連分野の企業・関係施設等や業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか	4	③	2	1
・ 関連分野における実践的な職業教育（産学連携によるインターンシップ、実技・実習等）が体系的に位置づけられているか	④	3	2	1
・ 授業評価の実施・評価体制はあるか	4	③	2	1
・ 職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか	4	③	2	1
・ 成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか	④	3	2	1
・ 資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	④	3	2	1
・ 人材育成目標の達成に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	④	3	2	1
・ 関連分野における業界等との連携において優れた教員（本務・兼務含む）を確保するなどマネジメントが行われているか	4	③	2	1
・ 関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取組が行われているか	4	③	2	1
・ 職員の能力開発のための研修等が行われているか	④	3	2	1

【課題・今後の改善方策】

- ・ 3年制移行時にカリキュラムが再編成されたが、見直しが必要な部分もある。（例：1年生の衛生・公衆衛生、歯科補綴学 3年生の口腔衛生学）
- ・ 複数の講師で担当している科目もあり、すべての科目に授業評価を実施するのは難しいのが現状である。現実的に実施できる方法での評価の取り入れについて、今後検討を重ねる必要がある。
- ・ 歯科衛生士試験対策においては小人数制、いわゆるマンツーマン教育の実践が成果を上げた。今後、高齢者、有病者の歯科診療においては全人的に患者を理解し、良質な医療サービスが提供できる人材の育成に備える必要がある。具体的には全身管理の中での口腔ケアの実践が可能となる実習先の追加を検討していく。

(4) 学修成果

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1			
・ 就職率の向上が図られているか	④	3	2	1
・ 資格取得率の向上が図られているか	④	3	2	1
・ 退学率の低減が図られているか	4	③	2	1
・ 卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	4	③	2	1
・ 卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか。	4	③	2	1

【課題・今後の改善方策】

- ・ 退学理由としては、学業不振、進路変更、経済的理由など様々であるが、モチベーションが持続しない学生や理解度の差に対応できるよう、きめ細やかな指導を心掛ける。学生・保護者に誠実に関わり、より確かな信頼関係を構築し、早期対応に努める。
- ・ 学業不振者への勉強方法、資格取得後の将来の展望等の指導を徹底する。
- ・ 卒業生の活躍等の情報は十分ではないが、情報が入った際は報告（記録）し、情報の共有を心掛ける。

(5) 学生支援

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1			
・ 進路・就職に関する支援体制は整備されているか	④	3	2	1
・ 学生相談に関する体制は整備されているか	4	③	2	1
・ 学生に対する経済的な支援体制は整備されているか	4	③	2	1
・ 学生の健康管理を担う組織体制はあるか	4	③	2	1
・ 課外活動に対する支援体制は整備されているか	4	③	2	1
・ 学生の生活環境への支援は行われているか	4	③	2	1
・ 保護者と適切に連携しているか	4	③	2	1
・ 卒業生への支援体制はあるか	4	③	2	1
・ 社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	4	③	2	1
・ 高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか	4	③	2	1

【課題・今後の改善方策】

- ・ 学生支援は生活・進路・経済など多岐にわたるが、担任をはじめ各担当教員が相談・支援を行っている。保護者との連携も含め、今後もよりきめ細やかな対応をすることで学校生活の充実に繋げたい。
- ・ 現在、高校・高等専修学校と連携してのキャリア教育、職業教育は、業者を通じての依頼があった場合のみ、出向して実施しており、十分とは言えない。改善方策として、学生募集の高校訪問時に、要請を頂けば協力できる旨を先方にPRし、連携を図る。

(6) 教育環境

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1			
・ 施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	④	3	2	1
・ 学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか	4	③	2	1
・ 防災に対する体制は整備されているか	④	3	2	1

【課題・今後の改善方策】

- ・ 実習室・実験室の実習設備器材の老朽化が進んでいるため、長期計画での整備計画を策定する。  
例 実習室ユニットの入れ替え（開校当時から使用しており故障も多い）
- ・ 口腔ケアの知識・技術向上のため、臨地実習指導体制を構築する。（長期計画で老健・特養施設の実習登録施設を増やすことも視野に入れる）
- ・ 実践能力を向上させるために、臨床実習・臨地実習の指導者と更なる連携をとり、指導のスキル、方向性、内容の統一を図る。
- ・ 防災・減災に対する日ごろからの意識づけを行う。
- ・ 戸棚、ロッカー等の固定や配置の確認をする。

(7) 学生の受入れ募集

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1			
・ 学生募集活動は、適正に行われているか	④	3	2	1
・ 学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	④	3	2	1
・ 学納金は妥当なものとなっているか	4	③	2	1

【課題・今後の改善方策】

- ・ 来年度から歯科医院奨学金制度を採り入れ、奨学金の充実を図る予定である。本校における教育成果＝国家試験100%をきちんと明記できるよう今後も教育に力を入れていく。

(8) 財務

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1			
・ 中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	4	3	②	1
・ 予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	4	③	2	1
・ 財務について会計監査が適正に行われているか	④	3	2	1
・ 財務情報公開の体制整備はできているか	④	3	2	1

【課題・今後の改善方策】

- ・ 昨年に比べ赤字額は縮小したが、平成28年度収支はマイナス1,500万円である。募集定員を充足しても収支が改善されない。財政基盤を盤石にするには、定員増や授業料の値上げが急務である。支出を抑えるべき更なる改善が必要である。

(9) 法令等の遵守

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1			
・ 法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	④	3	2	1
・ 個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	④	3	2	1
・ 自己評価の実施と問題点の改善を行っているか	4	③	2	1
・ 自己評価結果を公開しているか	4	3	②	1

【課題・今後の改善方策】

- ・ 専修学校設置基準や関係法令に従い、適正に運営している。自己評価結果の公開が行われていない。ホームページなどでの公開が必要である。

(10) 社会貢献・地域貢献

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1			
・ 学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	4	③	2	1
・ 学生のボランティア活動を奨励、支援しているか	4	③	2	1
・ 地域に対する公開講座・教育訓練（公共職業訓練等を含む）の受託等を積極的に実施しているか	4	③	2	1

【課題・今後の改善方策】

- ・ 歯科医師会、歯科衛生士会等の関係団体からの要請があれば、取り決めに従って学校教育資源は提供出来ているが、地域からの施設活用、講座・教育訓練等の依頼は皆無である。PR力が不足しているとする。本校のみでは地域に対して効果的なPRは難しいと思われるため、大学と共同してのPRを提案したい。